

令和元年度第1回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告

1 開催日時・場所

令和元年7月12日（金曜日）午前9時48分から午前11時48分まで
東京都健康安全研究センター 本館6階会議室

2 議事及び報告事項

(1) 議事：事例の検討について

平成30年12月1日から令和元年5月31日までの間に都医師会、都薬剤師会、都消費生活総合センターを通じて収集した3事例について検討を行った。

3事例の検討の結果、情報提供することとなった2事例（めまい、腹痛・下痢）について、都医師会、都薬剤師会を通じて協力を依頼した。

なお、1事例（肝障害）については、経緯について詳細な情報が得られなかったことから事例として蓄積していくという結論になった。

今回の事例について事前に精査した結果、緊急調査等が必要な事例は無かった。

(2) 議事：その他（健康食品対策の今後の方向性）

本委員会で検討する被害事例の提供数が減少していることから、今後の東京都としての健康食品対策の方向性を考えていくために梅垣座長からご意見を伺った。

(3) 報告：東京都医師会及び東京都薬剤師会への協力依頼について（平成30年度第2回「健康食品」による健康被害事例専門委員会終了後の資料送付）

次の事項について報告した。

・昨年度第2回当専門委員会での検討結果、情報提供することとした2事例（便秘、肝障害）及び受診時の聞き取り調査を依頼することとなった1例（不正出血）について、都医師会、都薬剤師会を通じて協力を依頼したことを報告した旨。

(4) 報告：収集事例の集計結果について

平成18年7月1日から令和元年5月31日までに収集した370事例の集計結果について報告した。

なお、製品と症状との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。

ア 収集事例の内訳

医師会	166人	延べ	239製品
薬剤師会	118人	延べ	129製品
都消セン※	2人	延べ	2製品
計	286人	延べ	370製品

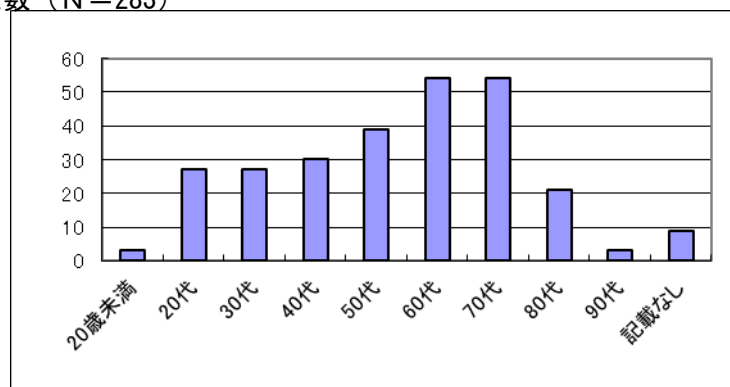
※消費者センターについては、分析・評価の依頼のあった事例について、平成30年7月17日から「健康食品」による健康被害事例専門委員会の分析・評価の対象としている。

イ 年齢別人数分布

年齢	患者数	利用目的の主な内訳 (その他・不明・記載なしを除く)
20歳未満	3	健康維持・増進・栄養補給 2、ダイエット 1
20代	29	健康維持・増進・栄養補給 3、ダイエット 16、バスタップ 2、美肌 2、強精 1
30代	29	健康維持・増進・栄養補給 6、ダイエット 13、美肌 4、血液をさらさらに 1
40代	33	健康維持・増進・栄養補給 7、ダイエット 10、関節痛(ひざなど) 2、美肌 2、強精 1、ドライアイ 1、排尿障害 1
50代	40	健康維持・増進・栄養補給 18、ダイエット 5、関節痛(ひざなど) 8、美肌 4、癌予防 1
60代	59	健康維持・増進・栄養補給 16、ダイエット 6、関節痛(ひざなど) 14、血液をさらさらに 1、美肌 1、強壮 2
70代	59	健康維持・増進・栄養補給 19、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 19、血液をさらさらに 3、美肌 1、頻漏尿改善 1
80代	21	健康維持・増進・栄養補給 7、ダイエット 1、関節痛(ひざなど) 9、血液をさらさらに 1、美肌 1、味覚異常 1、血糖値改善 1
90代	3	関節痛(ひざなど) 1
記載なし	10	健康維持・増進・栄養補給 1、ダイエット 2
合計	286	健康維持・増進・栄養補給 74、ダイエット 51、関節痛(ひざなど) 49

ダイエット・美容は20～40代、健康維持・増進・栄養補給は40代以上が多い。

人数 (N=283)



年齢別人数分布によると、50～70代が多い。

ウ 性別割合

性別割合によると、女性（211人、74%）は、男性（71人、25%）の約3倍であった。（4名は記載なし）

エ 基礎疾患の有無

基礎疾患については、有（165人、58%）、無（81人、28%）、記載なし（40人、14%）であった。

オ 症状・異常所見等

症状・異常所見等	患者数
発疹・発赤・掻痒	103
肝機能障害、肝機能検査値異常	42
胃痛・胃部不快感・吐き気	33
下痢・軟便	24
出血、出血傾向	11
頭痛・吐気	11
めまい・ふらつき	8
便秘	7
血圧上昇	7
尿酸値の上昇	4
その他	81 ¹⁾

1) 検査値異常（肝機能検査値・尿酸値を除く）、味覚異常等

※ 複数回答あり

症状・異常所見等で最も多かったものは「発疹・発赤・掻痒」の103名で、全体の36.0%を占めている。次いで「肝機能障害・肝機能検査値異常」が42名（14.7%）、「胃痛・胃部不快感・吐き気」が33名（11.5%）であった。

なお、症状・異常所見と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はなかった。

東京都食品安全情報評価委員会
「健康食品」による健康被害事例専門委員会 委員名簿
(五十音順・敬称略)

平成 30 年 7 月現在

No.	氏 名	所属
1	○梅垣 敬三	昭和女子大学 食安全マネジメント学科 教授
2	小林 弘幸	公益社団法人東京都医師会 理事
3	千葉 剛	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 部長
4	松本 有右	公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事
5	水谷 太郎	地方独立行政法人茨城県西部医療機構 理事長
6	山口 正雄	帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 教授
7	山口 隆司	一般財団法人食品産業センター 振興部・海外室 次長
8	山崎 壮	実践女子大学 生活科学部 食生活科学科 教授

(○) 座長